

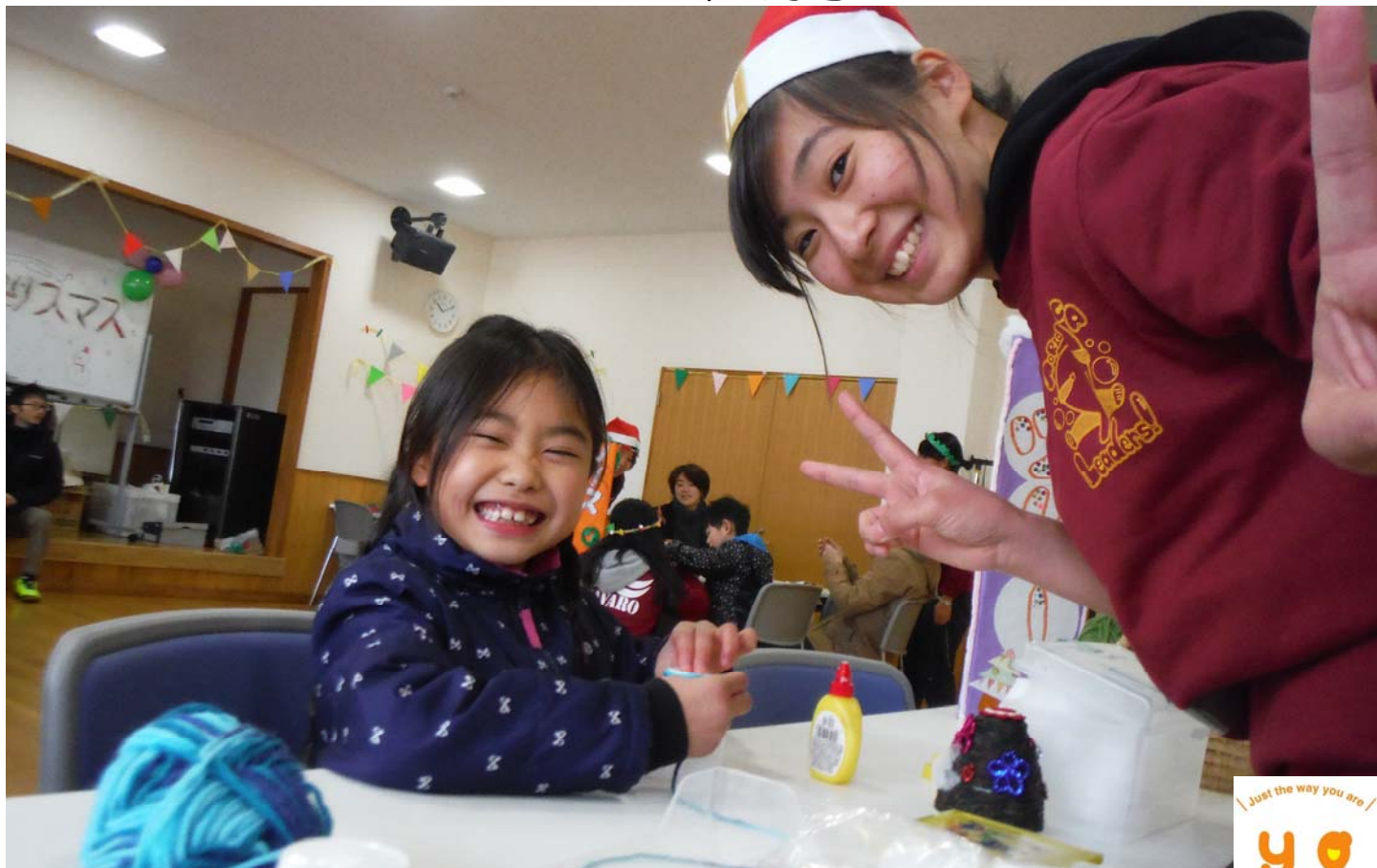
MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2017年1月号



発行人：濱塚有史 編集人：向平悟 武田悠 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: info@moriokaymca.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>



「隔たりの壁を取り払おう」

魚住 英昭（盛岡YMCA理事長）

盛岡YMCAに集う皆さま。あけましておめでとうございます。このたび、石渡前理事長に代わって理事長に就任しました魚住と申します。

昨今の世界情勢を見ると、トランプ現象に象徴されるように、各国で、異民族や難民、思想信条を異にする人々との間に壁を作り、排斥することを目指す政治的リーダーが広範な支持を得てきているように思われます。ファシズム台頭の経緯を分析し、民衆の内なる「権威主義的パーソナリティ」を指摘したのは、社会心理学者エーリッヒ・フロムでした。先行きの見えない不安な時代においては、常に英雄願望が高まり、権威に従属し、弱者を排撃する社会的パーソナリティが民衆の中に形成されることを喝破したものでした。現代の日本も例外ではありません。政治的リーダーがどうにかして良い方向に導いてくれるのではないかと期待して、民衆が思考停止に陥り、自身の利益や効率性の妨げになる人々に対して攻撃の矛先を向けるという現象が様々な場面で増えてきてい

るように思われます。

さて、盛岡YMCAは、人々の多様性を認め、ひとりひとりの個性を大切にし、共に生きることを通じて成長し合うことを目指してきた青少年団体です。盛岡YMCAに集うリーダーや子どもたちは、世界の動きや虐げられた人々にも目を向け、共に生きることを意味を考え、他者を思いやり、自らの足で力強く歩んでいます。競争よりも連帯、排斥よりも受容、利潤よりも分かち合い、そのような基本原則の中で豊かな人間形成を追求しようとしているのです。地方都市の小さな団体に過ぎず、個々の歩みもささやかな一歩でしかありませんが、こうしたあり方こそが闇に閉ざされた世界の中で、大きな希望、ともしびとなることを確信するものです。今後も盛岡YMCAに大きなご支援をお寄せくださいますようお願いいたします。



☆ファミリークリスマス2016☆

12月11日(日)に、ファミリークリスマスが行われました。昨年に引き続き、大道具担当のスタッフを務めきった、東森聡さんからのレポートが届いています。



一年に一回の子どもたちのお楽しみイベントといえそう！クリスマスです！

12月11日(日)、仁王地区活動センターにて、今年も親子参加型プログラム「ファミリークリスマス」を盛大に行いました。

昨年同様、飲食やプレゼント交換というパーティー形式ではなく、「おうちで飾れる自分たちのクリスマスグッズを作り、親子で楽しんでいただきました。コーヒークップと毛糸で作るとてもカワイイ「ミニツリー」・まるで缶バッジのような「くるみマグネット」・YMCAのリーダー達がぬりえとなって登場！「ぬりえ&おりがみ」・紙ひもで雰囲気満載「クリスマスリース」・技術に自信が持てる作業「オーナメント」・大好きなあの人へ贈りたい「クリスマスカード」・大好きなキャラクターがキラキラした飾り物に変身「スノードーム」と、いう7つのクラフトブースを設け、子どもたちも目を輝かせながら、そして真剣な顔で個性溢れるクリスマスグッズを製作していました。「親子一緒に…」が目的なのですが、クラフトブースには時折、子ども以上に真剣にグッズを作る保護者の姿も見られ、まるで、「大人の本気」を知らしめているのではないかというアーティストックなグッズを製作された方もいらっしゃいました。

ファミリークリスマスが始まって1時間後…ホールの方からなにやらクリスマスソングと、リーダー達の「楽しい事が始まるよー！」という声が聞こえてきたので覗いてみると、ホールでは家族対抗の「ビッグじゃんけん」が開催されようとしていました。ルールは簡単。出会った家族と体全体を使ったじゃんけんをし、最終的にはビッグじゃんけん最強家

族を決定するというもの。家族という垣根を越えて、みんな同じ空間で笑い合える、とても素敵な時間でした。参加者全員で歌と踊りを楽しみ、一段落ついた頃、誰もいない筈の部屋から物音が…!?リーダーがそーっと部屋の扉をあけてみると…なんと、あわてんぼうのサンタクロースと、二足歩行のトナカイが登場してきました！明るい雰囲気誘われて遠い国からやってきたサンタさんとトナカイさん。その後は、子どもたちのかわいらしい質問に答えたり、子どもたちの無理難題にも体を張って応えたりと、大忙しな様子でした。最後はサンタさんからとてもかわいいプレゼントをもらって笑顔で終える事ができました。

今年で2回目となるファミリークリスマス。1回目が大好評だったために、今年はずっといいモノにと、リーダー・スタッフが1か月以上前から準備をはじめました。クラフトの内容はもちろんのこと、新たに写真コーナーを設けたり、ツリーを巨大化させたり、リーダー・スタッフがクリスマス感を出すためにオリジナルの手作り衣装を身につけたりと、参加したすべての人が笑顔になれる工夫をしてきました。もちろん、全部がうまくいったわけではありません。しかし、盛岡YMCAのリーダー達は、うまくいかなかったとわかってからこそ、また話し合い、チャレンジできる環境をつくりあげて、前回よりも今回、今回よりも次回とステップアップできるのです。

来年も参加する家族全員の最高の笑顔のために、リーダー達はもっと最高の笑顔で活動をしていきます。そして来年はもっともっと親子の笑顔が溢れる素敵な空間をつくりあげていきたいと強く感じました。

前潟センタースタッフ 東森 聡 (タモリリーダー)



同じサッカースクール所属のふたり、この日はサンタとトナカイに変身！ ←



今回は最年少、0歳の参加者も！おさるリーダーとパシヤリ ☆ ←



みんなでダンス中に、こっそりカメラ目線に向けてくれた子が一人！ ←

国際協力街頭募金

2016年11月23日、盛岡YMCAで国際協力街頭募金活動を行いました。当日はYMCAのプログラムに参加しているメンバー、保育園児、小学生、中学生や、ワイズメンズクラブメンバー、社会人リーダー、学生ボランティアリーダーなど様々なYMCAとの関わりを持つ方々がボランティアとして参加し、その人数は過去最高の57人となりました。

当日は、開運橋のたもと、安全十字路(北日本銀行大通支店さん前)、川徳さん前、ななっくさん前の4か所で募金活動を行わせていただきました。天気自体は晴れてしたが、かなり冷え込みが厳しい中、沢山の方が足をとめ、暖かい支援をしてくださりました。中にはわざわざ車を停めてそこから募金して下さる方もいらっしゃいました。募金を下さった方々、私たちの声に耳を傾けて下さった方々、本当に有難うござ

います。

今回の街頭募金活動で集められた募金は、167,272円でした。そこから当日の道路使用許可の料金など経費7,300円を差し引いた159,972円を今回の益金とし、海外での災害時支援、難民支援、コミュニティ支援、子ども育成支援などに日本YMCA同盟を通じて充てさせていただきます。また、盛岡YMCAでは、3月31日まで国際協力募金への募金を募っております。これらの募金で行う支援の多くは、継続的な支援が必要なものです。皆さんのご理解・ご協力、何卒お願い致します。

日頃より支えて下さる全ての方に感謝して、街頭募金の報告の終わりとさせていただきます。

盛岡YMCA 国際担当 小川 嘉文 (さるリーダー)



内丸教会にて、ゴリナリーダーと子どもたちのほほえましい姿！これから街頭募金に向かいます。 ←



各グループに分かれて市内各地での募金活動を行いました！ ←



こちらは開運橋のたもとグループの様子。どのグループも寒い中、一生懸命がんばりました！ ←

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 12月報告書

1. 12月アドベンチャー報告

12月もアドベンチャークラブが行われました！当日メインリーダーを務めたピリケンリーダーこと二永芽生さんより、報告が届いています。



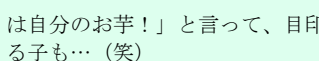
12月4日の宮古アドベンチャー「キャンドルを作ろう！（何故か焼き芋もする）」でメインを務めさせていただきました。岩手大学1年のピリケンこと二永芽生です。

今回は子ども14人、スタッフ・リーダーあわせて10人の合計24人で岩手県立陸中海岸青少年の家に行き活動してきました。

今回のアドベンチャーは、7月以来というとても久しぶりの参加で、子どもたちも私のことをよく覚えていないであろう、そんな状況の中での初めてのメインだったので、私自身とても緊張していましたが、しかし宮古駅に集合してくる子どもたちからは緊張を感じることはなく、集合の時点で私は不安より楽しみの方が強くなりました。

バスの中ではニョッキリーダーによるミニゲームで盛り上がり、あっという間に青少年の家に到着しました。

プーリーダーによる面白い説明を聞き、みんなで協力してたくさんのサツマイモを洗って、新聞紙やアルミホイルを巻きつけました。中には、「これは自分のお芋！」と言って、目印のあるアルミホイルの巻き方をしている子も…（笑）



次に火付けをしました。しろうまリーダーとサトちゃんリーダーに薪の組み方や火のつく仕組みを教えてください、各グループで火付けに挑戦！薪を組む位置やうちわで扇ぐ風の量を調節しながら、なんとか全グループ火をつけることができました。

火をつけ終わったら三浦さんにバトンタッチでお芋の番してもらい、今度はキャンドル作りに挑戦しました！施設の人の説明を聞き、クリス



マスの飾りや貝殻、ビー玉などで、みんな個性豊かなキャンドルを作ることができました。

キャンドル作りが終わったら、みんなで準備した焼き芋を食べながらお昼ごはんです！！真っ黒になったお芋もありましたが、真っ黒になったお芋ほど、真ん中の部分はホクホクしていて、とても美味しかったです！

解散の時刻は遅れてしまいましたが、たくさん子どもたちと関わることができた、とても充実した1日になりました。

今回のアドベンチャーを通して、自分自身の大きな成長に繋がれる課題に気がつくことができました。また今後も宮古アドベンチャーに参加し続け、子どもたちと一緒に私も前進していけたらと思います。

岩手大学1年 二永 芽生（ピリケンリーダー）

2. 宮古サッカーⅡ期最終日！



12月13日で、宮古サッカースクールのⅡ期の活動は最終日を迎えました。メンバーたちは、今期も元気いっぱい活動してくれました。その努力の甲斐あって、11月に盛岡で行われた、盛岡YMCA所属の各地区のサッカーチームが参加した「チャンピオンズカップ」では、低学年の部で優勝！Ⅱ期の活動の中でも、みんなの思い出に残る活動となりました。

Ⅱ期最終日には、みんなで集合写真を撮影しました。寒さを吹き飛ばせとばかりに声を出しながらの1枚、今にも「ウオー！！！」という声が聞こえてきそうですね！

Ⅲ期の活動は、1月17日から開始となります。スクールは少しの間お休みとなりますが、またみんなと楽しくサッカーできることを、リーダー・スタッフ共に心待ちにしています！



出前サッカー&出前体育教室！

盛岡YMCAでは、「訪問出前サッカースクール」「訪問出前体育教室」を開講しております。



今月の「訪問出前サッカースクール」は、12日（月）に「くろいしの保育園」さんにお邪魔しました。この日のサッカーを楽しみにしてきてくれた子どもたちは、最初から元気いっぱいでした！

この日のグラウンドの状態は、天気の影響もありドロドロ。最初は汚れることを嫌がっていた子どももいましたが、そのうち汚れるのが気にならなくなり、最後にはみんなどろんこになりながらも、全身で思いっきりサッカーを楽しんでくれました！

14日（水）には、「訪問出前体育教室」のため、再び「くろいしの保育園」さんへ。この日が3度目の体育教室だったこともあり、みんなリーダーの名前を覚えてくれていました。跳び箱からジャンプしてみたり、でんぐり返しをしてみたり…いろんな運動を、遊びながら笑顔で楽しむことができました！元気なみんなにまた会える日が、とっても楽しみです！



盛岡YMCAの「訪問出前サッカースクール」「訪問出前体育教室」では、開講を希望される保育園・幼稚園を大募集しております！ご興味を持たれた方は、どうぞお気軽にお問い合わせください！

2016年☆こんなこともありました！

2016年が終わりと、気づけばあっという間に2017年。この1年の間、YMCAニュースには載せきれなかった出来事もたくさんありました。今回はそんなこぼれ話をいくつか掲載いたします！



6月27日に、盛岡YMCA3センター対抗のボーリング大会が行われました。参加者は、盛岡YMCAで働くスタッフ一同。もしかしたら、普段接している子どもたちよりもはしゃいじゃった！？一日となりました。左の写真は、優勝賞品の「宮古ラーメン」を手にして大喜びする、向中野センターのスタッフ一同です。



夏のある日のぶらひむ・たいむ本町校にて、絵の具で遊んでいたら楽しくなってきた女の子たち。なんと、顔や腕にまで大胆なペイントを施して見せてくれました！まるで一人ひとりがアート作品みたいですね♪



盛南サッカースクールの一コマ！冷え込んだある日のこと、グラウンドの奥で大きな氷を見つけた子どもたちは大興奮！手が冷たくなることなんて意に介さず、たくさんの氷を運びます。その運んだ氷を、グラウンドで割る！そんな繰り返して、みんな大盛り上がりしていました。

ここで紹介できたのも、2016年の出来事のほんの一部！2017年も、たくさんの「楽しい！」に出会えるよう、スタッフ・リーダー一同がんばります！

